平成 26 年 7 月 4 日

長崎県立大学地域連携センター	
担　当	佐世保校企画広報課 企画広報グループ　松下、石井
電　話	0956-47-5856
メール	kikaku@sun.ac.jp

平成 26 年度長崎県立大学公開講座の開催について（ご案内）

長崎県立大学では、県民の皆様に学習の機会を提供し、地域における生涯教育の振興に貢献することを目的として、7 月 12 日（土）に公開講座を開催します。

今回は、「地域包括ケアシステム構築のための住民と自治体の協働」、「子どもの事故～地域で支える安全な子育て環境とは～」と題し、本学看護栄養学部看護学科教員による講座を行います。

講座は、佐世保校・シーボルト校の両キャンパスをインターネット回線で結んで実施いたします。詳細については、別紙チラシに掲載しておりますのでご参照ください。

記

長崎県立大学公開講座

開　催　日：平成 26 年 7 月 12 日（土）
講 座 内 容：13:30～14:30　山谷　麻由美（本学看護栄養学部看護学科 講師）
「地域包括ケアシステム構築のための住民と自治体の協働」
14:40～15:40　大重　育美（本学看護栄養学部看護学科 准教授）
「子どもの事故～地域で支える安全な子育て環境とは～」
主　会　場：シーボルト校　中央棟 1 階 M103 講義室
遠 隔 会 場：佐世保校　新館講義棟 1 階 504 教室
対　象　者：どなたでも参加できます
受　講　料：無料
申 し 込 み：不要（1 講座のみの受講も可能です）

※詳細はチラシをご覧ください。

平成26年度 長崎県立大学公開講座

5/31▼8/2の土曜日※ 13時30分～15時40分

※（6月28日、7月19日、7月26日を除く）

［主催］長崎県立大学 ［後援］長崎県教育委員会・佐世保市・長与町・新上五島町

5/31（土） 13:30～15:40
情報メディア学科 ［主会場］シーボルト校 ［遠隔会場］佐世保校

- ITS（高度交通システム）で長崎はどう変わる長崎をどう変える　森田　均教授
- AR（拡張現実）の活用事例　辺見 一男教授

6/7（土） 13:30～15:40
経済学科 ［主会場］佐世保校 ［遠隔会場］シーボルト校

- 飲料産業グローバリゼーション下における東アジア茶産地の挑戦　木村　務教授
- 結婚適齢期の男性が余る時代、どのような選択が望まれるか　柳田 芳伸教授

6/14（土） 13:30～15:40
地域政策学科 ［主会場］佐世保校 ［遠隔会場］シーボルト校、新上五島町

- スマートシティ ～暮らしやすく、地球に優しいまちづくりを目指して～　車　相龍准教授
- 統計データでみる長崎県の地域経済 ～長崎県はどのような地域でしょうか？～　吉本　諭准教授

6/21（土） 13:30～15:40
国際交流学科 ［主会場］シーボルト校 ［遠隔会場］佐世保校

- 対馬宗家の対外的緊張 ～寛政９年（1797）の「光」と「音」～　松尾 晋一准教授
- 発展途上国の女性と子ども　和田 一哉講師

7/5（土） 13:30～15:40
流通・経営学科 ［主会場］佐世保校 ［遠隔会場］シーボルト校

- あなたにとっての天職（Beruf）は！ ～欧州の精神文化を学ぶ～　山本　裕教授
- 長崎県における買物弱者問題の実態と対策　西島 博樹教授

7/12（土） 13:30～15:40
看護学科 ［主会場］シーボルト校 ［遠隔会場］佐世保校

- 地域包括ケアシステム構築のための住民と自治体の協働　山谷 麻由美講師
- 子どもの事故 ～地域で支える安全な子育て環境とは～　大重 育美准教授

8/2（土） 13:30～15:40
栄養健康学科 ［主会場］シーボルト校 ［遠隔会場］佐世保校、新上五島町

- 肥満は万病のもと！機能性食品成分による肥満予防の可能性　駿河 和仁准教授
- 腸内細菌を介した健康増進 ～食物繊維を中心に～　田辺 賢一助教

会場

［佐世保校］	［シーボルト校］	［新上五島町］
新館講義棟504教室	中央棟1階M103講義室	鯨賓館活動支援室

［遠隔会場］には主会場からテレビ会議システムで中継します。

参加無料
どなたでも参加できます
［申込不要］

お問合せ 長崎県立大学 地域連携センター

佐世保校
〒858-8580 佐世保市川下町 123
TEL 0956-47-5856

シーボルト校
〒851-2195 西彼杵郡長与町まなび野 1-1-1
TEL 095-813-5500

講座の詳細は Web でご覧いただけます。 http://sun.ac.jp/center/area/education/public/

※この公開講座は、ながさき県民大学の連携講座となっております。

講　座　内　容

5/31(土)
13:30～15:40
情報メディア学科

ITS（高度交通システム）で長崎はどう変わる長崎をどう変える　森田　均教授

高度交通システム(ITS)は、自動車と道路、電車と線路を情報通信技術によって協調させて安全で便利な移動を利用者へ提供しています。県内では、五島市・新上五島町へ導入した計140台の電気自動車による未来型ドライブ観光のために活用しています。長崎電気軌道の低床車両位置情報配信サービス「ドコネ」も地域のITSです。この講座では、移動・情報・電力のネットワークという観点からITSによるまちづくりの現状と可能性について考えます。

AR（拡張現実）の活用事例　辺見 一男教授

カメラで撮影した映像にCGを表示し、驚きの光景を作り出す。このような仕組みをAR（Augmented Reality：拡張現実）と呼んでいます。ARは、広告、観光、エンターテインメントなど、多くの分野で利用されるようになってきています。ARを支える技術は画像処理とCG（コンピュータグラフィクス）です。この講座では、画像処理、CG、ARについて多数のデモンストレーションを行います。ぜひ目の前で体験してください。

6/7(土)
13:30～15:40
経済学科

飲料産業グローバリゼーション下における東アジア茶産地の挑戦　木村　務教授

東アジアは世界有数の茶文化を形成しており、茶生産量は世界の3分の1を占めています。しかし近年は、ペットボトル入り茶飲料の普及によって消費が変貌し、茶文化存続の危機にも直面しています。そこで本講座では、飲料産業のグローバルな展開のなかで東アジアの各茶産地はどのような取り組みをしているか、どのような方向をめざしているかについて、中国・韓国・日本の茶産地の最新の現地調査に基づいて明らかにします。

結婚適齢期の男性が余る時代、どのような選択が望まれるか　柳田 芳伸教授

一部、DVDを用いる。現在、長崎は結婚適齢期の女性過多を呈している。広く見ると、これは例外的現象である。確かに19世紀後半のイギリスにおいては、50万余りの女性超過が生じ社会問題となっていた。しかし今日では、反対に、人口大国である中国、インドをはじめ、多数の国で男性超過が現出している。仮に今後も一夫一婦制に拘泥していくなら、多くの男性が生涯独身を余儀なくされる。自発的未婚という選択肢はないのか。一考する。

6/14(土)
13:30～15:40
地域政策学科

スマートシティ　～暮らしやすく、地球に優しいまちづくりを目指して～　車　相龍准教授

気象異変をもたらす地球温暖化の懸念が一層強まっているなか、その原因とされる化石燃料起源の二酸化炭素を減らすことは、まさに我々の将来をかけて対処すべき課題とされる。その際、世界人口の半分が暮らす都市をどのように変えて行くかはまさに勝負どころであり、「スマートシティ」と呼ばれる新しい都市モデルが注目されるようになった理由はそこにある。本講義では、この新しい都市モデルを中心にこれからのまちづくりを考えて見る。

統計データでみる長崎県の地域経済　～長崎県はどのような地域でしょうか？～　吉本　諭准教授

私たちが住んでいる長崎県は一つの地域です。私たちが暮らす長崎県はどのような地域でしょうか？農業、水産業、製造業、観光などを含めた地域経済という視点から、客観的な指標である統計データにもとづき、長崎県の現状と特徴についてお話します。

6/21(土)
13:30～15:40
国際交流学科

対馬宗家の対外的緊張　～寛政９年（1797）の「光」と「音」～　松尾 晋一准教授

ペリーが浦賀に来航する50年以上昔の寛政9年（1797）、対馬西方沖に見えた「光」、そして大きな「音」。慌てて派兵する対馬宗家、そして状況を見守る幕府。「光」「音」の正体とは、一体何であったのか？日韓に残る対馬宗家文書を読み解き、その謎とこの事件の意義を考えていきます。

発展途上国の女性と子ども　和田 一哉講師

近年、途上国と呼ばれる国々のうち、一部が目覚ましい経済発展を成し遂げ世界の注目を集めています。しかし、それらの国々とて様々な問題が社会に残っていないわけではありません。加えて、今なお多くの点で困難な状況にある国々が存在します。本講義では、いわゆる「経済」的な観点だけではなく、人々の健康や教育、社会的地位などの側面にも焦点を当て、発展途上国に依然として残る課題について概観します。

7/5(土)
13:30～15:40
流通・経営学科

あなたにとっての天職（Beruf）は！～欧州の精神文化を学ぶ～　山本　裕教授

モノの売り買いを商業とすると、商業は日本をはじめ世界の様々な地域で古くより存在しました。しかし、それを近代的な資本主義へと高めていったのは、古代文明が栄えた中国やインド、中東ではなく、唯一ヨーロッパだったのです。本講座では、マックス・ウェーバーの『プロテスタンティズムの倫理と資本主義の精神』を手掛かりに、資本主義を可能とした精神構造をさぐり、あわせて古典を読む楽しさを紹介します。

長崎県における買物弱者問題の実態と対策　西島 博樹教授

食料品販売店は地域住民の毎日の食生活を支える重要な生活インフラです。特に車などの移動手段をもっていない高齢者にとって、生鮮食料品店の地域からの消失は健康問題に直結するまさに死活問題となっています。本講座では、超高齢化社会を迎えている長崎県における買物弱者問題（フードデザート問題、Food Deserts）という新たな社会問題に焦点を当て、その実態と対策について考察していきます。

7/12(土)
13:30～15:40
看護学科

地域包括ケアシステム構築のための住民と自治体の協働　山谷 麻由美講師

地域包括ケアシステムとは何か？住民と自治体の協働とはどのようなことか？住民と自治体保健師の協働の現状と課題はどのようなことがあるか？を実践事例や研究結果を踏まえてお話しします。

子どもの事故　～地域で支える安全な子育て環境とは～　大重 育美准教授

わが国の幼児の死亡原因のトップは不慮の事故です。この実態は、昭和35年以来、ほぼ変化なく、緊急に予防対策が必要で、母子保健の重要な課題として挙げられています。ではこの問題は、子どもを持つ保護者だけが注意すれば良いのでしょうか？その答えは、NOです。子育て経験が少ない核家族が増える中、ご近所さんを含めた地域での見守りが欠かせません。この機会に地域で支える安全な子育て環境を一緒に考えませんか。

8/2(土)
13:30～15:40
栄養健康学科

肥満は万病のもと！機能性食品成分による肥満予防の可能性　駿河 和仁准教授

肥満は、摂取・消費エネルギーのバランスが崩れ、からだの脂肪細胞が大きくなった状態で、糖尿病、脂質異常症、高血圧、がんなどの様々な生活習慣病を引き起こす原因にもなります。肥満の予防や改善には食事や運動面からの対応が重要ですが、それらの効果を助ける物質として様々な機能性食品成分の研究が行われています。本講義では、国内外の研究知見や本大学で行っているそれらの研究の内容についてお話しします。

腸内細菌を介した健康増進　～食物繊維を中心に～　田辺 賢一助教

ヒトの腸内には多くの腸内細菌が共生しており、その種類は約1,000種類ともいわれています。老化に伴い、腸内細菌叢は変化しますが、腸内細菌叢を良好な状態に保つことは健康の保持増進につながります。食物繊維やオリゴ糖は飲料や菓子類など多くの食品に含まれており、これらには乳酸菌やビフィズス菌などを増殖する働きがあります。本講座では、腸内細菌叢を良好な状態に保ち健康的に生きることについてお話します。